

2021年4月27日

教理史 藤井義生

Aクラスの目標

- ・ 生徒は、主要教理の成立過程を知る。
- ・ 生徒は、各時代・地域の社会的文脈が主要教理に与えた影響を知る。
- ・ 生徒は、主要教理をどのように今日の信仰生活に適用できるかを考え実践する。

B授業の流れ

- 一時間目：課題発表、ディスカッション
- 二時間目：講義・全体ディスカッション

Cテキスト、参考文献、

- ・ キリスト教神学入門／A・E・マクグラス／教文館
- ・ インターネット

Dコースの課題

以下の課題を全員にメール配信する。(Word文書 12ポイント。 発表の前日 午後6時までに。ただし参考文献を明記してください。3行以上のコピペは禁止です。)

- 1 小レポート (40%)
各章の中から、関心のあるトピックを一つ選び、それをまとめてください。また、それが、今のあなたや教会にどのような意味を持つか、記してください。
(A4 1ページ、合計8回発表)
- 2 大レポート (40%)
テーマ 「私が最も重要と思う神学者とその理由」
(A4 4-5ページ、これについては所属教会の牧師にも同時提出)
- 5 授業参加度 (20%)
(講義の理解度、ディスカッションの参加度(傾聴、発問)、授業の準備などを評価します。)

Eコースの評価

60点以下はFで取り直し。(A+98、A95、A-92、B+88、B85、B-82、C+78、C75、C-72、D+68、D65、D-62、F60)

Fスケジュール(変更の可能性あり)

第一回 イントロダクション 1 教父時代

第二回 2 中世とルネッサンス

第三回 3 宗教改革とそれ以降の時代

第四回 4 近・現代

2021年4月27日

第五回 5 初めに（予備的考察）

第六回 6 神学の資料

第七回 7 自然的な神知識と啓示による神知識

第八回 8 哲学と神学

第九回 9 神論 10 三位一体論

第十回 11 キリストの人格の教理

第十一回 12 信仰と歴史

13 キリストにおける救いの教理

第十二回 14 人間の本性と罪と恩恵の教理 小レポートはなし

大レポート発表

第十三回 15 教会の教理

第十四回 16 サクラメント論

第十五回 17 キリスト教と世界宗教

G 参考文献

キリスト教神学 上・下 / アリスター E マクグラス／キリスト新聞社
（図書にあり、購入する必要なし）